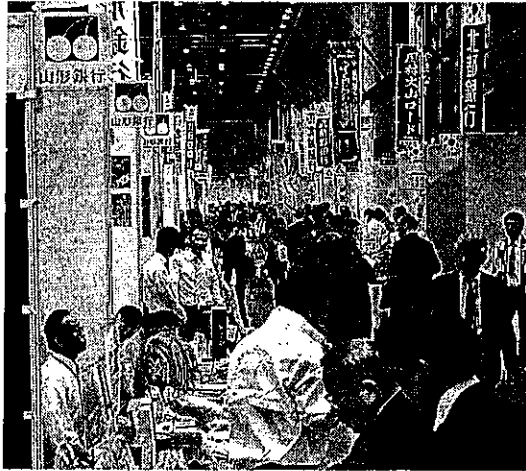


フードセレクション2015 盛況

# 地銀41行、取引先585社が集結

## バイヤー1万人にイチオシ訴求

全国の地方銀行が主催する日本最大の展示・商談会「地方銀行フードセレクション2015」が12日、13日に東京・江東区の東京ビッグサイトで開かれた。地銀の取引先585社・団体が出展、2日間で1万1223人が来場し盛況となった。



多数のバイヤーが来場した会場



取引先のくんせい卵「スモッチ」をPRする山形銀行長岡支店の太田孝広主任



山形の新しい米「つや姫」も披露された

フードセレクションは、地方の素晴らしい食事前予約制による個別商

文化と首都圏の消費者をつなぐことを目的にスタートし今年で10回目。今年には地銀41行が主催する過去最高の食の商談会となった。出展メロッドはキービジネスソリューションが大手卸売業との取引を通して小売業・飲食

業・ネット通販などへの販路拡大をサポート。決済代行、商品提案を行い、口滑りな取引を実現している。さらに、米国、豪州、東南アジアへの海外進出を目指す出展者に輸出を支援する。

出展者は全国各地の特産品、加工食品、加工食品、水産品、加工食品を展示。百貨店、食品スーパー、食品商社、ホテル、外食などのバイヤーに自社のイチオシ商品を訴求した。商談コーナーでは予約した事業者とバイヤーが時間制で商談を行った。

会場は東北、関東・甲信越、北陸・東海・関西・中国、四国・九州・沖縄エリアに分かれて出展。特に注目を集めたのは「大手スーパーで有力な手がたえがあり、念願の商談ができた事業者も。首都圏のバイヤーは地方に出向かないので貴重な機会」と話した。

また、取引先20社が出展した東邦銀行公務・地域振興室の角田敦室長は「大手スーパーで有力な手がたえがあり、念願の商談ができた事業者も。首都圏のバイヤーは地方に出向かないので貴重な機会」と話した。

また、取引先20社が出展した東邦銀行公務・地域振興室の角田敦室長は「大手スーパーで有力な手がたえがあり、念願の商談ができた事業者も。首都圏のバイヤーは地方に出向かないので貴重な機会」と話した。